



エグゼクティブ・サマリ

- 医療保険制度改革及び薬価制度の見直しにおいて困難な選択を迫られていることは十分理解している。
- しかし、これらの議論は全て、患者のニーズを中心に置いて議論されなければならない。
- 日本は、市場原理に則り、薬剤のイノベーションが適切に評価される薬価制度に向かって進む必要がある。
- イノベーションに対する評価の短期的な改善策としては、補正加算をより大きくかつ幅広く適用することが不可欠である。
- イノベーションに対する評価を引き上げることは、必ずしも医療費全体の増加を招くものではない。
- 全ての新薬に対してイノベーションの価値が適切に評価される新たな仕組みを採用すべきである。
- 日本の薬価を他の先進諸国と同等の水準とするために導入された外国平均価格調整の機能は強化されるべきであり、弱められるべきではない。
- 市場原理にそぐわない再算定は廃止されるべきである。さもなければ、すでにいくつかの国で見られたように国内の研究開発型製薬産業が破滅することになる。
- 研究開発投資に報いる政策を実施することによって、より安全で有効性の高い国際的新薬を日本の患者が早期に使用できるようになる。